

令和7年度 第3回学校運営協議会 議事録

校名 大阪府立野崎高等学校

校長名 小畑 龍業

開催日時 令和8年2月5日(木) 15時30分～17時00分

開催場所 野崎高校 校長室

出席者(委員)

中畠 正人 大阪産業大学 入試センター次長
山崎 政範 大阪教育大学 附属学校統括機構特別参与 学長補佐
木村 千代美 大東市立四条中学校長
尾崎 明幸 大東市文化財保護審議会委員
梅本 正直 大東市人権教育指導員 社会教育主事

出席者(事務局)

小畑校長 勝村教頭 西田教頭 高須事務長 西本首席
議事録作成：梅田講師

【協議資料】

- ①大阪府立野崎高等学校運営協議会 実施要項
- ②大阪府立野崎高等学校運営協議会 名簿
- ③第2回授業評価アンケート結果
- ④学校教育自己診断の結果と傾向
- ⑤令和7年度学校評価
- ⑥令和8年度学校経営計画

<次第>

- 1 開会(資料①)
 - ・会長挨拶
 - ・校長挨拶
 - ・出席者紹介(資料②)
- 2 第2回授業アンケートの結果と傾向について(資料③)
- 3 学校教育自己診断について(資料④)
- 4 令和7年度学校評価について(資料⑤)
- 5 令和8年度学校経営計画について(資料⑥)
- 6 その他
- 7 協議
- 8 閉会

議事録

1 開会（資料①、②）

- 会長挨拶
- 校長挨拶
- 出席者紹介

2 第2回授業アンケートの結果と傾向について（資料③）

【事務局より】

- ・全体的に改善傾向があるが、学年によってばらつきがある。
→学年の様子を把握して改善が必要。授業見学を活用して、教員の資質向上を図る。

3 学校教育自己診断について（資料④）

【事務局より】

○全体の課題

- ・回答率が低い。（生徒 70%程度 保護者 30%程度）
→今後は生徒 80%程度、保護者 50%程度を数値目標にしたい。
- ・保護者向けには、まず生徒にプリントを配布しているが、その手紙が保護者の手元にきちんと渡っていない可能性が高い。
→次年度はさくら連絡網を活用することで改善が見込まれる。

○生徒に関する課題

- ・「学校に行くのが楽しい」の項目の数値が65%は低い。
→生徒に達成感や充実感を与える仕掛けを増やす。
- ・「HPやブログで学校情報を見ているか」の項目の数値が低いため、インスタグラム等 SNS を活用した発信機会を増やす。

○保護者に関する課題

- ・保護者の回答率が低い。生徒の回答と保護者の回答の数値に差がある。
→学校での取り組み等を、保護者と情報共有する機会を設ける。

○教員に関する課題

- ・「総合的な探究の時間を通じて生徒の成長を感じることができた」の項目の数値が低い。
→内容の精査・改善が必要。

【委員より】

- 保護者の回答率が低いのは、保護者に不満がないからという見方もできる。
質問項目をより分かりやすくすることで、回答率が向上するのではないか。

- 保護者の関心は小中学校に比べると低くなっているのではないか。

学校に来たい理由、どうすれば学校が楽しくなるか、具体的な分析が必要ではないか。

- 「野崎高校に入ってよかった」の値が高いのでアピールポイントになる。

- 4 令和7年度学校評価について（資料⑤）
- 5 令和8年度学校経営計画について（資料⑥）

【事務局より】

○評価について各項目を説明

【委員より】

○USJのインターンシップした生徒が、そのまま採用されることはあるのか。

→採用につながった事例はない。

○野崎高校の人権教育を通して、「人とのコミュニケーション、人の温かみ」などを伝えられていると感じる。

これらを推進することで、野崎高校の強みが生まれ、野崎高校の支援体制などを、広報活動を通して中学生や保護者に伝えるようにすればよいとの意見があった。

○地元のこども園からの情報

野崎高校の生徒が同園のインターンシップに参加、良い表情で活動していた。

保育士の進路や奨学金返済免除の制度について、話をした。

- 6 その他

特になし。

- 7 協議

各項目において意見交換を実施

- 8 閉会

○教頭より今年度の協議会の御礼

○校長挨拶

以 上